

入力者氏名	教員所属	科目名	アンケートに対するコメント
小川 エリナ	基礎教養	ニュージーランド研修英語	Thank you for your great feedback. I am glad to see that most students gave the maximum score for most items on the survey form. This tells me that you found this class useful and I am very happy to know that!
小川 エリナ	基礎教養	英語III	Thank you for your well-considered feedback. There were only four students in this class, and you did not all chose the same responses for all the questions on the survey form, so it is difficult to see overall trends. But, it appears that there were no big problems and that is good to know!
川村幸夫	基礎教養	英語I(表現)月3	評価平均が予想よりも若干低い結果が出ていました。予習・復習に関しての取り組みが低い点と事前準備・事後学習の時間が少ない点になりました。この授業は予習の負担が少ない内容でしたが、各自の理解度に合わせて事後学習に時間をかけてもらいたかったと思っています。他の項目も含めて、次年度以降、改善していきたいと思います。
川村幸夫	基礎教養	英語I(表現)月4	評価平均はほぼ予想通りの結果が出ました。主眼点の英語に楽しく触れることと英語に対する抵抗感を減らすことは、ほぼその目的を達成できたと思います。予習・復習に関しての取り組みが低い点と事前準備・事後学習の時間が少ない点になりました。この授業は予習の負担が少ない内容でしたが、各自の理解度に合わせて事後学習に時間をかけてもらいたかったと思っています。他の項目も含めて、次年度以降、改善していきたいと思います。
山本隆一郎	人間心理	基礎ゼミナール	この科目は、1年生の必修科目であり、「江戸川大学の学生として」「人間心理学科の学生として」の学びの基礎を少人数制のゼミ形式で行う授業である。全体の平均値は4.7点と非常に高い評価を頂いた。この結果は昨年と同様であった。しかしながら、昨年・一昨年のコメントにも記したように、学生同士の相互作用やインフォーマルな場での交流の良さという点が大きく評価に関係している。私自身の授業運営というよりも今年度の学生間の雰囲気の高さが高評価につながっていると考えられる。「私にとって楽しい」授業と「大学での学びとして有意義であった」授業ということを同一視することは本質的でない（もちろんその両者が同居することは好ましいかもしれない）。基礎ゼミ生の皆さんは、この授業を通じて、大学という場の学びの基礎として何が身についたかを省察してほしい。
山本隆一郎	人間心理	健康カウンセリング概論	この科目は、現代の健康問題が、環境と個人との相互作用による影響が大きいことに鑑み、健康行動の形成維持や望ましい生活習慣のサポートのための知識やその方法論を解説した授業である。学生さんの全体的な評価としては、概ね昨年までと同様に高評価（4.6）であり、自由記述でも、授業資料や伝え方の分かりやすさに関する好評を頂いた。また、今年度は昨年度の統制もあってか、一部の騒がしい学生の受講は授業当初からなく、円滑な授業運営ができた。授業内容も比較的學生が興味を持ちやすいテーマ（飲酒や喫煙など3年生になった学生に身近なもの）であったことから、主体的に参加しやすかったのではないかと考える。昨年同様のコメントではあるが、この授業で学んだ健康行動やそのサポートの仕方に納得ができたのであれば、まずは自分や身近な人々に応用できて初めてこの授業の意味がある。面白いテーマだったということだけではなく、主体的に学んだ学問を過去のものとしてせず、現在そして今後の生活に生かしてほしいと考える。
浅岡 章一	人間心理	基礎ゼミナール	予習、復習の時間が少ないとの回答となっていましたので、今後は授業の目的を明確にしたうえで、各自が自主的に自宅学習を進められるような指示をするようにしたいと思います。また、一年生前期の必修科目という事もあり、シラバスをあまり読んでくれていないようです。初回授業時に丁寧にシラバスの内容を説明してはいますが、授業登録前にシラバスを見る習慣が身につくよう、基礎ゼミナール内でも指導していきたいと思います。
浅岡 章一	人間心理	神経・生理心理学/生理心理学	授業の内容や授業の仕方については、平均を上回る評価がされている一方で、シラバスを読まない、予習・復習の取り組みが少ないという、この授業の受講生の特徴がアンケート結果からうかがえます。一年生の前期授業という事もあり、どのように家庭で自主的な勉強をすべきかという点についての情報提供がもっと必要なのかもしれません。行うべき予習・復習について明確に伝達するよう努力したいと思います。自由記述では、授業内容に興味を持てたとのコメントを多くもらいました。難しく感じがち脳の仕事みや機能について如何に學生が興味を持てるように教えられるかをテーマに授業を組み立ててきたので、その工夫が一部の学生さんには伝わったようでうれしく思います。
福田 一彦	人間心理	基礎ゼミナール	「福田先生大好きです」と書いてくれたのは、誰だか分かりませんが、有難う。嫌われるよりは好かれる方がやっぱり嬉しいですよ。 「質問などを気軽に出来て、分かりやすく答えてくれました。」少人数教育ですからね。これで気軽に聞けなかったら問題です。「基礎ゼミお疲れさまでした。後期もよろしくお願ひします。」はいはい、もう、2019年の暮れですが、一年間はあつという間だったと思います。「テレビなどの機材の不具合で、授業がスムーズじゃなかったり、教室を移動する羽目になったため、機材をちゃんとしてほしいと思った」その通りですね。学務部や事務局にも伝えました。少しずつ機材の更新をしてきているとのこと。さて、皆さんの評価のポイントをみると平均よりも低かったのは、「シラバスをよく読んだ」と「予習・復習や授業に関する取り組みをおこなった」が低いのですが、シラバスの件は必修なので、読まないのは仕方ないかなとも思いますが、一応読んでくれるとありがたいです。「予習・復習」は予習は難しいかもしれませんが、復習、とくに合同授業で行った統計やエクセルの使い方などについては、復習してほしかったです。
福田 一彦	人間心理	精神生理学	自由記述はありませんでした。3日間の集中で行う電気生理学指標などを実際に計測する実習系の授業で満足度は非常に高かった（9から18までの平均：4.7）と思います。この授業で評価が低かったのは、問6の「予習や復習などの事前準備にどの程度の時間をかけましたか」ですが3日間の集中講義なので、予習復習は難しかったかもしれませんね。でも復習はしてほしかったです。
福田 一彦	人間心理	外国書講読（心理学英語I）	「睡眠の他にも専門的な用語の訳し方をまとめて教えていただけると助かります。」今でも認知心理学系の論文は取り上げているのですが、まあ、もう少し範囲を広げてみますね。ただし、分野ごとの専門用語（Technical Term）を取り上げるのは、始めたらきりがなくなってしまいます。専門用語は私自身でもその都度辞書を引いたりしなくてはなりません。この授業で目標としているのは、基本的な英語の構文を理解して読めるようになることです。翻訳というのは、辞書でしらべた単語を適当にくっつける仕事ではありません。主語はなにか、動詞はなにか、そして、目的語をとる動詞なのか、関係代名詞の先行詞はなんなのか、過去分詞が使われている理由は、など、文の構造を理解するための手がかりを見つけていく、犯人捜しのようなプロセスをなるべく早く出来るようになることです。「授業中は丁寧に説明してくれたので、英語の苦手意識があった自分でも、今では英文を読むのに抵抗がなくなったからよかったと思う。」有難う！それを聞くと教えている側も非常にうれしいです。論文の英語は比較的単純な構文の文から成り立っています。特に自然科学系の論文はそうです。英語の構文が分かるようになってくると、一瞬見ただけで、どういう構造の文なのかはすぐに分かるようになると思います。頑張ってください。

福田 一彦	人間心理	睡眠の生理心理学Ⅰ (睡眠の心理学Ⅰ)	「余談がとても面白かったです」ん？なんの余談でしょうか。来年もネタとして使います。「半年間有難うございました」こちらこそ。「途中でトイレで教室を抜け出す際、報告しなくてはならないというルールに関して、もう少し検討していただけると幸いです。」これについては、悩んでいます。ただ、自由にすると、教室が無法地帯と化します。ですので、基本的に授業中は「出入り自由ではない」という部分については変えるつもりはありません。昔は出入り自由なんかではなかったです。昔の学生と今の学生で膀胱の容量が変わっているとは思えないんですがね。「専門的なことが学べた気がする」う～ん。いや～、もっと専門的にしようと思えばいくらでもできますが、まあ、専門の入門編ということで。「睡眠について深く学べました」もっと深く出来ます。「資料配るのがもっと早くなれば、事前に印刷が出来るので、うれしいです。」はい、これは本当にすみません。うっかり遅れてしまうのが何回かあったと思います。来年は気をつけます。「テストには出ないような豆知識も教えてくださいの良かったです。ありがとうございました。」う～ん?!なんだろう豆知識って。「スクリーンが小さくて一番前に座っていても、字が小さいと見えないこともあった」たしかに、今年の教室(メモリアルホール)のスクリーンは、背面投影式なので、ボンヤリとしか映りません。これは大学に早く変えてほしいです。でもさ。一番前で見えないってのはなかったと思うよ。メモリアルホールの一番前は、階段状になっているよりも前に「かぶりつき席」みたいなものがあるけど、そこはかなり空席でした。そこに座ってました?その席で見えないような小さな文字はさすがにないと思いますよ。「この授業で得られた知識の中で、学生たちの生活習慣に関わる内容のものが、それを授業内で取り入れてくれたので、学生たちにとっては非常に興味をもてる内容だったのではないかと思う。またスライドの文字も黒字に白文字のものがあつたので、とても見やすかったと思う。」そうですね。実際、生活習慣そのものを教えてくれると本当に嬉しいのですが。マジで人生変わりますよ。「この講義を受けて、自分自身の睡眠習慣の見直しをする良いきっかけになったと感じました。」これは嬉しいコメントですね。江戸大に来て睡眠の話聞いて、人生変わりました、なんて言われたら最高です。
吉田 一康	経営社会	企業と法Ⅰ	全般的に、高い評価をして頂きまして感謝致します。ただし、その中であつて、設問13「板書や機器を使った表示文字は見やすかった」が4.3と、相対的に低い評価だったことは、今後、板書やプロジェクターの使用に、もっと注意を払って慎重に行わなければならないと思いました。 設問7「成績の評価基準を理解している」も、やはり4.2と低かつたので、シラバス記載の評価基準を、最初の講義だけでなく、数回の講義で、確認の意味で詳しく説明する必要があると感じました。 設問6「この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習はどの程度時間をかけましたか」の評価が2.6だった点については、講義内で、次週のテーマの紹介や課題などを与えて、予習や復習を習慣づけなければならないと考えました。 学生の受講態度は、遅刻者と居眠りがややみられましたが、毎回、驚くほど静かで真面目なものでした。
杉山敏啓	経営社会	基礎ゼミナール	この科目は新生を対象に、本学に慣れて頂くとともに、これから経営・社会分野について学ぶにあたって、学習を通じて社会適用能力を身につけることの意義を、テキスト輪読・ディスカッション・講師体験談などを通じて遂行いたしました。PPTを用いた最終プレゼンテーションは、各自の興味がある分野を深堀することができ、全体的な成果をもたらす上で有意義であつたものと再認識いたしましたが、そのための準備時間をさらに取ることで、予習・復習を促すことが一考であると感じました。
杉山敏啓	経営社会	金融ビジネス基礎Ⅰ /金融基礎Ⅰ	この科目は金融分野の初学者を主たる対象に、金融機関、金融商品、金融システム等の用語・仕組みについて講義形式で学習する科目です。シラバス仕様・履修者人数などを考慮し講義形式で遂行しましたが、講義進行中の諸注意などを含む双方向コミュニケーションが不足し、改善の余地があると認識しました。中間試験1回を行いました。復習インセンティブを強化するために小テストなども活用する余地があるものと認識いたしました。
杉山敏啓	経営社会	コーポレートファイナンスⅠ	この科目は金融・経営分野の専門科目にふさわしい内容と難易度を目指して講義形式で学習する科目です。講義中に中間試験1回、PC演習1回を取り入れましたが、PC演習の回数を増やすなどして、復習を促す取り組みを強化してもよいと認識しました。
林香織	マスコミ	マス・コミュニケーション史Ⅰ	この科目は、マスコミ学科の2年生以上に向けた必修科目で、マス・メディアを中心とした歴史的発展の過程とともに、当該メディアが社会に与えたインパクトについて考えることを目的としています。授業改善のためのアンケート結果を見ると、平均的な評価を受けていましたが、設問6「この授業に関して、予習や復習などの事前準備や授業に関する取組みをおこなった」についての評価は2.7と低くなっています。シラバスに記載したように、そもそもの歴史を知らないと、マス・メディアの発展過程というマス・メディアの歴史を載せていくことが難しくなります。例えば、「宗教改革」が何かを知らない人に、印刷物の歴史を説明しても意味がわからなくなるといった形です。そのため、こうした授業では、「習う」という感覚を捨て、授業に来る前に、リメディアル的な歴史の勉強をしてほしいと思います。また、自由記述欄や設問13「番所や機器を使った表示は見やすかった」については、他の項目よりやや低い4.0となっていました。スライドの文字を大きくすると、スライド枚数が増え、大事な部分のみ表記するとメモできない人が取り残されるというジレンマどうしても解消できません。大教室で人数が多いので、申し訳ありませんが、できる限り、前方の見やすい席に座るなどの工夫をしてもらえるとありがたいと思います。
林香織	マスコミ	メディアコミュニケーション論Ⅰ	この科目は、マスコミ学科1年生以上に向けた必修科目で、その他の専門科目へのバトンタッチをする意味で、メディアやコミュニケーションという学問に関する幅広い専門知識の獲得を目的としています。授業改善のためのアンケート結果を見ると、おおむね平均的な評価を受けているものの、設問13「板や機器を使った表示文字は見やすかった」が3.9と、他の項目よりも低くなっていました。自由記述欄にも「文字が小さい」という意見が多数見られました。改善するためには、スライド枚数を増やす、もしくは大事なところのみを記述し、あとはメモに任せるといった方法をとることになります。プリントも配布していますし、口頭で説明していることが文字化されているだけにすぎないので、できる限り、話の中から重要な点を聞き取って、メモをしていただくことで改善したいと考えます。大事なところは何度も繰り返し言っているつもりなので、そこを中心にメモをとるとよいと思います。また、自由記述欄にエドヘンの口頭指示に関する不満が書き込まれていました。「20分まで遅刻じゃないという学校の規則を知らないんですか?」、いえ、知っています。遅刻者に入力させないためではなく、授業の最初に静かにしてもらうために、エドヘンは口頭指示と、説明していますし、「書き取り」を推奨しています。口頭→書き取り→入力、このプロセスで、遅刻した人は、「エドヘン教えて」と入力すればよい仕組みを、逃げ道として作ってあります。また、授業内課題の提出によって、入力できなかった人の分はエドヘンの修正を行っているため、今後も方針を変えるつもりはありません。

林香織	マスコミ	マスコミ学基礎	<p>この科目は、マスコミ学科の1年生を主な履修者とし、今後4年間の学習計画を策定するために、まず、マスコミ学科での学びを理解してもらうことを目的としています。そのため、マスコミ学科の教員が毎回オムニバス形式で、自分がどのような研究を行い、どのような授業を持っていくのかを、解説していきます。授業改善のためのアンケート結果を見ると、ほぼすべての項目で、全学平均と同じような評価を受けています。また、自由記述欄にも「たくさんの専門分野に触れる良い機会」「いろいろな先生の名前を知る機会」といった好意的評価が多く見られました。ただ、専門分野が多岐にわたるため、「勉強するのが大変だった」という意見も。前向きに勉強しようとするからこそ、このような意見が出てくるのだと思いますが、もしわからないことがあれば、この授業をきっかけに、先生の研究室を訪ねたり、おすすめの書籍を聞いて読んでみるなど、コミュニケーションをとるきっかけになれば、と思います。設問6「この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか」2.2、設問7「成績の評価基準を理解している」3.8は、他の項目よりも低くなっていました。この授業はシラバス通りに進行しているため、シラバスで翌週の担当教員を確認し、調べてみる（大学のwebサイトに詳しく掲載されています）ことは復習にあたりますし、その日の講義内容をまとめることは復習になります。続けていけば身についていくので、予習復習に時間をかけてくれるととってもためになる授業になるかと思います。</p>
-----	------	---------	--